

舞踊関係文献目録 — 昭和54年 —

* この目録は、昭和54年度に発行された舞踊関係の日本語文献（単行本、雑誌・紀要論文）を取録したものである。

* 便宜上、次の分類に従った。

総記・芸術(一)・芸術(二)・民俗・教育

このうち、芸術は舞台舞踊、民俗はそれ以外の舞踊とし、芸術(一)は日本の舞踊、(二)は外国の舞踊とした。

* 各項においては、単行本、雑誌の特集、雑誌・紀要論文の順に配列した。

* 雑誌・紀要の号数は洋数字、巻号は0-0とし、月刊誌は0月とした。

* 本目録を、研究交流・情報交換の場として充実させるため、遺漏の分についての大方の御教示をお願いする。

＜ 総 記 ＞

舞踊年鑑〔Ⅲ〕— 1979 — 全日本舞踊連合舞踊年鑑委員会 全日本舞踊連合

日本舞踊・バレエ・現代舞踊・児童舞踊の昭和53年の記録。内容は、舞踊界の概況、主な舞台写真、舞踊公演記録、舞踊家名鑑、舞踊界の内外的。

舞踊鑑賞能力の発達に関する研究—動きのDesignとTempoについて— 斎藤千代子・杉山和子 (静岡大学) 教育学部研究報告 人文・社会科学篇29

舞踊運動の美的判断に関する研究—動きの伝達に関して— 上等久子 (山梨県立女子短期大学) 紀要12
舞踊動作の表現リズムに関する研究—琉球舞踊とインド舞踊のEMGパターンについて— 金城光子・玉城昭子 琉球大学教育学部紀要23(2)

演舞の構造—演舞概念の形成のために— 藤沢史枝 体育学研究24-3

舞踊用語に関する研究(Ⅱ) 松本千代栄・山田敦子・大熊琴月枝・本間清美・名須川知子 舞踊学2
舞踊を一要素とした総合芸術への私的試み 葵妖子 同上

舞踊における普遍的なるものと特殊的なるもの方向 神沢和夫 同上

展望 語られた舞踊論 石福恒雄 同上

理論体系と科学的客観性との総合—コード重要文献の紹介と解説— 上林澄雄 同上

舞踊表現の構造と要素化 松本千代栄 女子体育4月
道の探究—舞踊と武道— 西村勝巳 女子体育6月
イメージと表現 山口勝弘 女子体育11月

舞踊認知の因子分析の研究 — 3 — 性差について

金城光子・大城宜武 体育学研究24-1
おどりの間と呼吸 石黒節子 現代のエスプリ141
「私の舞踊史」—ジャーナリストの回想(7)~(11)
村松道弥 TES 19~23

舞姫物語①~⑧ 市川雅 流行通信5月~12月

舞踊関係文献目録—昭和53年— 舞踊学2

海外文献紹介 同上

舞踊学修士論文題目一覧(昭和52~53年度分) 同上

＜ 芸術(一) ＞

日本舞踊全集第三巻演目解説Ⅲ 日本舞踊社編
日本舞踊社

演目解説Ⅲとして、「三番叟」から「団十郎娘」までの55作品につき、歌詞・字句解釈・解説・鳴物解説・踊る心得・舞台装置・衣裳・かつら・小道具図版・舞台写真を載せる。

定本武智歌舞伎③ 文楽舞踊 武智鉄二 三一書房
武智鉄二の仕事のうち、文楽・舞踊にかかわる文章を集めた巻。論文「舞の技術」のほか、「敏三郎の角田川」「井上八千代の鶯娘」「舞踊」「井上流新考」「芸者芸術」「『ごう』と『ことわり』とのはざま」「随想雑考」。

日本の芸談4 舞踊邦楽 九芸出版

舞踊は、六世尾上菊五郎の『おどり』、京舞井上流松本佐多の『佐多女芸談』、琉球舞踊渡嘉敷守良の『自叙伝』の三篇。解説と語注を添える。

舞 序破急 吉村雄輝 九芸出版

上方舞吉村雄輝の50年にわたる舞踊生活の記録。60葉の舞台写真と、「ゆうきふみ」と題する随想・詩歌と自演の舞踊台本より成る。年譜を附す。

振付年表詳解 花柳滝蔵編 三代花柳寿輔
初代・二代の花柳寿輔が振付けた作品の年表化である花柳寿輔振付年表詳解と、花柳舞踊研究会・浪花おどりの上演年表より成る。

日本舞踊曲起源年表 花柳妙穂 花柳妙穂
本編は「日本舞踊曲起源史と文化・風俗史年表」と題し、日本舞踊の起源である歌舞伎舞踊等の初演記事を年表としたもの。

特集・海士 観世1・2月

特集・隅田川 観世3・4月

特集・草子洗小町 観世5・6月

特集・芭蕉 観世7・8月

特集・砧 観世9・10月

特集・龍田 観世11・12月

特集・花鏡う上方舞への招待 上方芸能60

特集・人形振り 創作舞踊7

特集・道成寺 創作舞踊8

特集・お稻荷さん 創作舞踊10

舞踊名言集成 郡司正勝 邦楽と舞踊 2・4・7・9・10・12月
かぶき舞踊まで37～39 郡司正勝 日本舞踊10～12月
日本舞踊の歴史⑦～⑩ 藤田洋 創作舞踊 7～10
舞踊年表 如月青子 芸能 1～12月
道成寺集成Ⅸ～Ⅹ 駒井義之・後藤瑠美子 舞踊研究 9・10
日本芸能にみる庶民体育 (1)田楽について (2)念仏踊について 花野豊子 福岡大学体育学研究 9-1・2
「作人舞復興願」の古文書について 志賀剛 神道史研究 7月
相撲儀式と楽舞—乱声・厭舞を中心に— 荻美津夫 古代文化 554
『ハフリ』の本義 目代清 演劇創造 9
反閥 小坂貞二 民俗と歴史 8
国立劇場公演「歌舞(うたまい)」を観聴して 志田延義 芸能10月
増補幸若舞・曲舞年表稿 市古貞次 国文学研究資料館紀要 5
国劇の誕生—能の成立と展開— 古川久 中央評論149
能大成前夜の一勳進史料 関根俊雄 跡見学園大学紀要 15
能楽前史再考 田口和夫 能楽評論 36
能格について 堀井令以知 関西外国語大学研究論集30
世阿弥に於ける「定まれる事」 八鳥正治 能楽タイムズ 6月
世阿弥の「離見の見」 鈴木文孝 愛知教育大学研究報告 人文・社会科学 28
金春禪鳳伝書における「位」の問題 堀越善太郎 (東海大学) 湘南文学 13
「六輪一露之記」までの背景—「世阿弥から禅竹へ」破— 大友泰司 駒沢国文 16
金春安照の能楽論 小田幸子 中世文学 23
幽玄再説 味方健 立命館文学 403～405
世阿弥の鬼 田中規子 芸能史研究 65
「船弁慶」について (一)～(五) 石井健次 橘香 6・7・9～11月
能『三輪』考 西村聡 皇学館論叢 12
「酒天童子」考 天野文雄 能研究と評論 8
「鞍馬天狗」をめぐって 石黒吉次郎 同上
「生贄」と「熊野参」—その源流— 小田幸子 同上
老女化石の能—「姨捨」論— 鳥居明雄 都立大学大学院論集 1
能の「山姥」 小林責 季刊邦楽 19
「三井寺」とその周辺 佐藤健一郎・鳥居明雄 宝生 1月
作品研究「海士」 堀口康生 観世 2月
作品研究「隅田川」 天野文雄 観世 3月
作品研究「草子洗小町」 小田幸子 観世 5月
作品研究「芭蕉」 伊藤正義 観世 7月
作品研究「砧」 八鳥正治 観世 9月
作品研究「竜田」 竹本幹夫 観世 11月

「砧」の能の中絶と再興 表章 観世10月
心より心に伝ふる花 能の現象学 4 観世寿夫 新劇 1月
仕舞講座 梅若万三郎 橘香 1月百万 2月富士太鼓 3月二人静 4月笹之段 6月藤キリ 7月船橋 8月二人静キリ 9月藤クセ 10月船弁慶クセ 11月船弁慶キリ 12月放下僧クセ
狂言の囃子事 羽田昶 芸能の科学〈芸能論考V〉
享保十四年の北野天満宮境内における芸能興行 宗政五十緒 竜谷大学論集 415
元禄かぶきの踊と振付 板谷徹 芸能史研究 66
宝暦前後の振付師—振付と振付師の歌舞伎舞踊史— 板谷徹 早稲田大学大学院文学研究科紀要別冊 5
手古舞と「改良」思想 上林澄雄 芸能 2月
諸流の昔と今 柏木流 (一)～(四) 江口博 日本舞踊 3～6月
研究資料(嘉永七年のおどりの譜) 丸茂美恵子 舞踊研究 11
娘形の分類 駒井義之・丸茂美恵子 舞踊研究 10・12
恋の娘形 吾妻徳穂 舞踊研究 10
娘形談義 西川左近 舞踊研究 12
花鏡廓踊賑 林喜代松 上方芸能 62
上方舞 同上
各流のすべて 重里正雄
その発生 鳥江鉄也
その分類 垣田昭
武原はんの世界 谷村陽介 同上
舞の系譜(7) 垣田昭 舞踊研究 9
振付の美学 花柳芳次郎 舞踊研究 9～11
舞踊の周辺 永井啓夫 舞踊研究 9～12
蜻蛉の眼 八巻献吉 同上
テレビのメディアにおける舞踊 石川健次郎 舞踊研究 10～12
舞踊曲を聞きなおす 上林澄雄 邦楽と舞踊 2～12月
歌舞伎の音楽・舞踊と折頭 竹柴蟹助 邦楽と舞踊 7～12月
日本舞踊の基本練習(31)～(42) 花柳千代 邦楽と舞踊 1～12月
志賀山流・踊り綴④～⑩ 志賀山葵 邦楽と舞踊 1～8月
舞い入門・地唄「雪」 瀬戸口恭子 邦楽と舞踊 1～3月
踊の心 邦楽と舞踊
舌出三番叟 目代清 1～3月
戻駕 西形節子 4～6月
落人 目代清 7～9月
京鹿子娘道成寺 西形節子 10～12月
舞踊参考室 日本舞踊
末広(寿末広) 松本龜松 1月
松竹梅・たにし 長田午狂 2月
三番叟・猩々 仁村美津夫 3月
巽八景 松本龜松 4月

清海波 新谷誠太郎 5月
 団十郎娘 仁村美津夫 6月
 大工長田午狂 7月
 多摩川 長田午狂 8月
 土蜘蛛 松本亀松 9~12月
 芸話シリーズ 日本舞踊
 山村たか芸話 1月 坂東三津蔵芸話 7~10月
 聞き書 河藤たつろ舞踊人生 鴨一平 創作舞踊7~10

＜ 芸術 (二) ＞

名作バレエの楽しみ 小倉重夫編 音楽之友社
 バレエ史上の代表作品から68篇を、グラン・バレエ篇、一幕物と小品集の二部に分け、制作年代順に配列し、各作品の成立、初演時の評価とその後の推移、あらすじをもって解説した鑑賞の手引。

バレエ全作品集 W.テリー 大津俊克訳 ブックマン社
 “Ballet Guide”の邦訳。原書のバレエ小史、初演後の上演記録を省き、古典から現代作品まで360余曲につき、初演の記録、解説に舞台写真を添える。巻末に「バレエ用語解説」がある。

ピーターとアンナのバレエ教室 N. ストリートフィールド ケイコ・キーン訳 文化出版局
 “A Young Person's Guide to Ballet”の邦訳。「アンナとピーターというバレエを習いつつある少年と少女を主人公とした物語の中で、主人公たちが学んでいく形で簡単なバレエの歴史を紹介してゆく」(原著者序文)本。豊富な図版を使う。

ニジンスキー 石福恒雄 紀伊国屋書店
 紀伊国屋新書『肉体の芸術』を改題した新装版。神々の黄昏 笠井叙 現代思潮社
 笠井叙の存在にかかわる人々をめぐっての小論。「神の故に、隣人を愛するのではない。また隣人の故に、隣人を愛するのではない。自己の自我が、他者の自我に共感し、他者の自我が自己の自我に共感しているからである。」(著者後書)

特集・バレエへの招待 文藝春秋デラックス5月
 特集・清水哲太郎 TES21
 特集・小牧正英を圍繞するもの TES22
 特集・洲和みち子 TES23
 特集・都市空間に祝祭の復活を求める セレグレーション・アート—マリリンウッドとそのグループダンス・ワーク25
 特集・武井慧とムーヴィング・アース日本公演 同上
 特集・'78年秋から'79年春の舞踊公演 同上
 特集・新しい運動芸術としてのオィリュトミーダンス・ワーク26

現代舞踊とバレエ (65)~(72) 桜井勤 日本照明家協会雑誌1~3・5・7・9・10・12月

モダン・ダンスの魅力 竹屋啓子 女子体育10月
 舞踏の病いと死期(VI)身体化過程の問題序説—舞踏の音楽 中村文昭 ダンス・ワーク25
 現代舞踊の原点—バレエ・邦舞をふくむ二十世紀の舞踊の歴史3・4 上林澄雄 ダンス・ワーク25・26
 ディアギレフ・芸術の推進者 第二部バレエ リュッスへの道 久保正士 同上
 英国におけるバレエとその環境 ケイコ・キーンダンス・ワーク26
 バレエの歴史 それはルイ王朝から始まった 蘆原英了 文藝春秋デラックス5月
 諸国バレエ事情 同上
 ソビエト プリセツカヤの時代 野崎詔夫
 ヨーロッパ 伝統と人材にめぐまれて 石井朱実
 アメリカ プームを作った亡命トリオ 岩本潔明
 現代日本バレエ who's who 久保正士・山野博大 同上
 ニッポンバレエ興亡史 中川鋭之助 同上
 オーケストラ・ピットの中から 福田一雄 同上
 バレエ花伝書・服部智恵子口伝バレエ教室(4)~(8) TES19~23
 ダルクローズの夢—パルッカ・シューレ・ドレスデン訪問記 日下四郎 TES19
 ポスト・ダルクローズ 桜井勤 TES20
 小牧正英を圍繞するもの TES
 対談 朝比奈隆・小牧正英 21
 対談 松島正幸・小牧正英 22
 座談会 40年代~50年代の小牧バレエ団 小牧正英・小川亜矢子・雑賀淑子・笹本公江・山野博大 同上
 座談会 伝統と継承 小牧正英・景安正夫・有馬五郎・関直人・横井茂 同上
 対談 石田種生・小牧正英 23
 作家が語るダンサー論 TES
 4 野坂公夫・江口須美子・坂本信子・藤井正子・並木淑枝・中間祥公・芙二三枝子・和田敦子 19
 5 ①・新井咲子・池田貞臣・望月辰夫・加賀美次郎・片岡通人 20
 6 本多実男・堀貞子・苜米地ひとみ・法村牧緒・折田克子 21
 7 亀ヶ谷環・清水洋子・森下洋子 22
 対談 石井潤—バレエを語る— 富田真介 TES19
 対談 他ジャンルから師を迎えて ①観世栄夫・柳下規夫 ②郡司正勝・河野潤 同上
 座談会 プリマとして 母親として 小林紀子・宮本東代子・三ヶ谷優子・富田真介 TES20
 対談 日本のバレエ・明日のバレエ 橋浦勇・南定四郎 同上
 対談 舞—パリ—ニューヨーク—東京 石井かほる・田中浪 同上
 インタビュー スペイン舞踊あれこれ—17年振りの

帰国、岡田昌己に聞く 同上
対談 ケイ・タケイと語る 飯島担 同上
インタビュー 宮本百合子に聞く TES21
インタビュー イリーナ・コルパコウに聞く TES22
インタビュー アントン・ドーリン 桜井勤 同上
対談 佐藤勇次・富田真介 同上
対談 マヌエル・アルム レスリー・リンカ・グラ
スター 同上
座談会 鞭と鞭—バレーする心を育てて 森下洋子
・藤堂真子・松本道子・春山信子・洲和みち子
TES23
幕のうちそと 1 藤井修治・洲和みち子 同上

〈 民俗 〉

西日本諸神楽の研究 石塚尊俊 慶友社
中国・四国・九州地方に伝播する神楽を総合的
に鳥瞰した研究書。第一篇では西日本諸神楽の
概観・比較・祖型模索・展開の各章から出雲流
神楽の佐太起源説に異論を呈し、第二篇は関連
論文として、「出雲古来の神楽」「隠岐島の社家と
神楽」「島々の神楽と神楽師」「伊弉諾流神道の神
祇と祭祀」を取める。
那智田楽 本田安次 那智田楽保存会
和歌山県那智大社に伝承の田楽を中心とする扇
祭の芸能の報告書。大社所伝の資料を用いて伝
承の歴史を考察し、その現状につき、神主之舞、
巫女之舞、沙庭之舞、那瀑の舞、田楽舞の詳し
い舞の型と、田楽の一部を須藤武子作成の舞踊
譜で載せる。
琉球舞踊入門 宜保栄治郎 那覇出版社
初心者向に編まれた琉舞鑑賞の手引。古典舞踊
・雑踊りなど59曲につき、詞章・歌意・解説に
写真を添え、口絵には舞台写真と19世紀前半に
成立の絵巻「舞楽図」、巻末に概説「沖繩の踊り」
「沖繩の舞踊界をささえる人々」の略歴、「踊り
の小道具」を載せる。
特集・琉球王権儀礼とイザイホー どれめん 21
特集・奄美のまつりⅡ まつり 33
特集・奄美の芸能 まつり 34
民俗舞踊の芸能 吉川周平 講座日本の民俗 8 芸能
神がかりと芸能 牛尾三千夫 同上
太々神楽 渡辺伸夫 同上
湯立神楽とその信仰 本田安次 講座日本の民俗宗教 6
宗教民俗芸能
法印神楽の宗教性 小野寺正人 同上
融通念仏と六斎念仏 五来重 同上
山伏神楽と修験道 田中義広 同上
蔵王神楽と修験道 森口雄稔 同上
遠山霜月神楽と坂部冬祭り 向山雅重 同上

西浦田楽と宗教 須藤功 同上
吉良川田楽とその信仰 高木啓夫 同上
平泉毛越寺延年と仏教 志羅山頼玄 同上
長滝六日祭延年と修験道 五来重 同上
能郷申楽能と修験者 沼賢亮 同上
国東半島の鬼会と呪師 西田啓一 同上
修正会修二会と呪師 五来重 同上
風流大念仏と遊行聖 大森恵子 同上
東海地方の大念仏 伊藤良吉 同上
琉球古典舞踊・打組踊「しゆんだう」について
照屋寛善 南島—その歴史と文化—2
荒神神楽にみる自然と人間 鈴木正崇 日本民俗学
125
船の芸能史考 三隅治雄 芸能の科学〈芸能論考V〉
遠野郷の青笹獅子踊 森口多里 民俗芸能 59
「大地踏」考 佐藤鶴麿 まつり文化 7
奥州白河郷渡の天道念仏 後藤淑 民俗と歴史 8
高柴の七福神 懸田弘訓 民俗芸能 59
対蹠的なふたつの獅子舞 大滝晴子 まつり文化 8
チゴの肩車考—能生白山神社の春季大祭から—
高岡功 高志路 251
遠山祭とムラ人 佐藤良博 日本民俗学 120
若狭の祭りとは芸能一王の舞・六斎念仏など— 朝比
奈威夫 歴史手帖 5月
若狭の王の舞 田中義広 まつり通信 219
若狭に残る「細男」舞 朝比奈威夫 まつり通信 218
劔神社の「巫女舞」 朝比奈威夫 えちぜんわかさ 6
猿投神社の田遊史料(一) 水谷類 まつり文化 8
山畑の神事踊 倉田正邦 民俗芸能 59
じんやく踊考 中村茂子 芸能の科学〈芸能論考V〉
寺内のざんざか踊 田中義広 まつり通信 224
盆踊りの研究—岡山県高梁市の松山踊りを中心とし
て— 三室清子 岡山大学教育学部研究集録 50
比婆荒神神楽 田地春江 まつり通信 226
隠岐の神楽 田中義広 まつり通信 225
五竜王から五人の王子へ 岩田勝 山陰民俗 33
仁位の盆踊り 小松勝助 まつり通信 222
釜ヶ原神楽と霜月祭 渡辺友千代 まつり通信 217
沓岐の岩戸神楽について 山口麻太郎 まつり通信 225
香川県綾南町滝宮念仏踊りを見る—土佐おどりの
系譜をたずねて— 高木啓夫 土佐民俗 32
筑前・筑後・豊前の民踊とその伝承について 宮崎
美智恵 天理大学学报 120
採物舞の舞楽要素—銀鏡神楽— 本田安次 民俗芸
能 59
山川町成川の神舞記録(資料) 真鍋隆彦 経済学論
集 鹿児島大学法文学部紀要 16
種子島のバック—舞い—臺の芸能をめぐる二、三の
問題 下野敏見 海南民俗研究 3
種子島大踊り 田中義広 まつり通信 226
久高島のイザイホーをめぐる— 諏訪哲郎・中俣均・
吉成直樹 地理 5・6月

沖繩久高島のイザイホウ 吉野裕子 まつり文化8
 沖繩の民俗から 沖繩久高島のイザイホー 当間一
 郎 歴史公論6～9月
 イザイホー沖繩県・久高島 大城学 芸能2月
 神女の生誕 — 沖繩久高島のイザイホウ神事 —
 桜井徳太郎 月刊文化財2月
 芦検の稲摺節踊り 村田有佳 まつり33
 アカヒギ踊りについて 林蘇喜男 同上
 与論島のシニユグとウンジャン 野口才蔵 同上
 蘇刈の棒踊り 本田硯孝 まつり34
 徳之島池間の棒踊り 徳富重成 同上
 畦布の獅子舞について 永吉毅 同上
 沖永良部の芸能—上平川の大蛇踊り 仲宗根幸市
 同上
 与論十五夜踊り 仲宗根幸市 同上
 奄美の八月踊り—その形態と発生のことども 恵原
 義盛 同上
 「ケチャ」の儀礼性と空間性 森永道夫 (帝塚山短期
 大学) 舞踊研究16
 バリの踊りを観察して 神沢和夫 同上

＜ 教 育 ＞

踊りとあそび歌 浅野祥三・天野勤 家の光協会
 日本レクリエーション協会編のレク・シリーズ
 の一冊で、第1部レクリエーション・ダンス、
 第2部あそび歌から成り、第1部は、レク・ダ
 ンスの基礎用語とつくり方、レク・ダンスその
 指導の前に、レク・ダンスのいろいろ。

特集・舞踊教育の方法を求めて 女子体育1・2月
 特集・「第12回全国女子体育研究大会」報告 女子体
 育3月
 特集・ダンスの学習内容と初歩的指導 女子体育4～
 7・9～12月
 特集・運動会とダンス 女子体育8月
 特集・模倣遊び・表現・ダンス 体育科教育7・8月
 特集・児童舞踊 TES22

アン・バーリン女史を囲んで TES22
 児童舞踊考 桜井勤 同上
 ダンス動作の分析—2一脚の前後振動運動 小川原
 春恵・田川典子 藤村学園東京女子体育大学紀要14
 舞踊動作に関する一考察(各被験者にみる運動発想
 の傾向—2—) 富川知加・林真幾子 同上
 ダンスにおけるイメージ構成について 中務知子
 (大谷女子大学) 教育学会誌4
 体育科教育におけるダンスの位置づけ 横山一郎
 女子体育8月
 イメージと表現 山口勝弘 女子体育11月
 これからのダンス授業の方向 水谷光 女子体育1月
 ダンスの授業研究の視点 穴迫洋子 同上

子どもの表現の世界 長谷喜久一 同上
 読みすての新聞紙と身体表現 相場了 同上
 子どもの表現を育てるもの—芸術教育の視点から
 松平信久 女子体育4月
 ダンスはどのように扱われたか、これからどう扱わ
 れるべきか(体育科・学習指導要領の研究(4))
 近かつ子 体育科教育1月
 運動の楽しさと授業過程⑥表現運動 水谷光 体育
 科教育4月
 子どもの発達と模倣・創造 太田信夫 体育科教育7月
 新しい舞踊教育への課題 松本千代栄 同上
 幼児の手の動き、腕の動き 森下はるみ 同上
 ダンス指導の基底は何か 堀野三郎 同上
 模倣・表現・ダンス教材の系統性 斎藤千代子 同上
 ダンスにおける楽しさの構造 石黒節子 同上
 模倣・表現と動きの教育 松本迪子 同上
 子どもにとって踊るとは何か 岸純子 同上
 日本人とおどり 斎藤修平 同上
 新しい時代のフォークダンス・日本民踊 池間博之
 同上
 私の考える舞踊教育の方向 同上
 表現運動から舞踊文化の共有と創造へ 及川陵一
 専門教育の必要性 金井英三枝
 日教組「教育課程改革試案」の検討を 村瀬幸浩
 舞踊の生活化 飯塚鉄雄
 私の考える舞踊教育 池田雅子 体育科教育8月
 創作表現への第一歩を民舞で(保健体育の授業研究
 8) 丹原あつ子 同上
 M. ドウブラー(現代体育・スポーツのイデオロギ
 ー5・6) 松本千代栄 体育科教育9・10月
 ダンスの学習内容と初歩的指導 女子体育4～7月
 保育園・幼稚園 水谷光・伊藤一視・松原要子
 小学校(低学年・中学年・高学年) 相場了・三
 浦弓枝・大岡美智子・古江綾子・井上都美子・
 斎藤克子
 中学校 川口千代・斎藤芳子・浜口量子・椎名瑞
 子・池田雅子
 高等学校 石黒節子・三宅香・赤池園江
 運動会とダンス 女子体育8月
 小学校(低学年) 石井光子
 小学校(中学年) 森尾信子
 小学校(高学年) 漆崎則子
 中学校 佐藤絢子
 高等学校 三宅照子
 ダンスの学習内容と初歩的指導(II) 女子体育9～11月
 小学校 相場了・松本千代栄・野口つぎ代・藤崎
 菊枝・近藤文子・島田誉志子
 中学校 佐分利育代・川口千代・松本富子
 高等学校 山田敦子・石黒節子・林真幾子
 ダンスの学習指導と初歩的指導(III) 女子体育12月
 小学校 相場了・西川富久
 中学校 頭川昭子

- 高等学校 藤沢史枝
 保育園・幼稚園の指導 女子体育
 豊かな表現をひきだすための伴奏のくふう 古江綾子 8月
 運動会の動きのリズム 柴紘子 9月
 いつでも、どこでも表現できる幼児に 内藤澄子 10月
 動きの表現—5歳児の記録より 阿部康子 11月
 たのしいグループ表現 須藤鶴子 12月
 日本女子体育連盟共同研究 女子体育
 子供の心を育てる楽しい模倣遊び 徳島県女子体育連盟・相場了 9月
 集団を生かす指導 福井県女子体育連盟・川口千代 10月
 指導法研究 宮崎県女子体育連盟・松本千代栄 11月
 「ダンス」の研究成果から 松本富子 学校体育1月
 楽しさを引き出すダンスの指導(中学校) 中嶋道子 学校体育2月
 踊る楽しさを追求する動きづくり(小学校高学年) 村上京子 学校体育4月
 児童の創作による全校ダンス(小学校) 古屋安夫 学校体育8月
 ひとりひとりの表現性を伸ばす(中学校) 笠原照子 学校体育9月

— 補 遺 —

〈 教 育 〉

- 舞踊の教育的意義をめぐっての一考察—舞踊の本質よりみる可能性と限界 松尾千秋 広島大学教育学部紀要・第2部27
 ダンスにおける技術と学習内容に関する一考察 佐分利育代 鳥取大学教育学部研究報告・教育科学20(2)
 創作ダンスにおける作品の「できばえ」に及ぼす創作過程の研究 三浦祥子他 四国学院大学研究紀要23
 ダンス(表現運動)の運動強度について 松本富子 群馬大学教育学部紀要 芸術・技術篇14
 ダンスの習熟過程における運動心拍数の変化について 本多弘子 (仙台大学)紀要10

(板谷 徹)

外国の舞踊書から

*1979年出版カタログ, Dance Magazine, Dance & Dancers などの新書紹介欄に取り上げられた1978, 79年刊行の舞踊関係の単行本のなかから, 重要と思われるものを, 紹介の抄訳とともに掲げる。

Natallia Makarova, Ballerina

by Richard Austin

(Dance Horizons)

1970年西側に亡命したナタリア・マカロフについて書かれた最初の本。レニングラードでのレッスンからキーロフ・バレエでの活躍, さらに“マカロフの非凡な才能はすべてを新生させる”と著者が評する天賦の素質を探っている。

On Broadway

by Willam & Jane Stott, Fred Fehl

(University of Texas Press)

舞台写真家であるフレッド・フィールが, 1940年以降のブロードウェイ・ショーを撮りつづけた写真集であり, ストットらの解説がついている。

Jazz Dance and Jazz Gymnastics

by Uta Fischer-Munstermann

(Sterling Pub., Company)

ジャズダンスが他のダンスと異なる点とその特徴について述べている。ジャズダンスの基本をおさえ, その基本に歩・走・跳などの自然運動を即興的に組み入れていく方法を示したわかりやすい解説書である。著者は, ジャズダンスの個性的・創造的な面を強調している。

How to Dress Dancers

by Mary Kent Harrison

(Midas Books)

画家であり舞踊衣装のデザイナーであるハリソンが, バレエ, モダンダンス, その他の種類の舞踊のための衣装や装飾, その選び方などについて解説したものの。

Mirror of the Body

by Anne Kaye & Don C. Matchan

(Strawberry Hill Press)

反射作用による内臓刺激やリラクゼーションについて, 写真や図表を用いて初心者向きに基礎的に概説している。

Therapeutic Dance Movement : Expressive Activities for Older Adults

by E. Caplow-Lindner, L. Harpaz, S. Sarnberg
(Human Sciences Press)

これからの高令化社会に向けたダンス・セラピーの本。呼吸, マッサージ, リラクゼーションなどを含めた練習のプログラムについて詳述されている。

Peter Breuer

by Max Niehans

(Nymphenberger Verlagshanlung Gambh)

ドイツのダンスール・ノーヴルであるピーター・ブリューエルについて, 少年時代から1978年までの写真およびドイツ, イギリスでの舞台写真, 計140枚の写真とブリューエルの伝記, 彼自身のダンスや生活に関する考えなども書かれている。

Latin & American Dances

by Doris Lavelle

(Pitman Publishing Limited)

国立ダンス教師協会の基準を統一させるために書かれた本で, 社交ダンスにおいて知っていなければならない細かい点まで言及されている。

Frogs and Ballet

by Donald Elliott

(Gambit)

ユーモアのセンスが溢れる教育的な本。楽しいかえるのイラストなどによって, バレエを原理的, 分析的に書いている。

The Children of Theatre Street

dy Patricia Barnes

(The Viking Press)

同名のフィルムを本にしたもの。ソビエトのキーロフ・バレエ・スクールの雰囲気やレッスン, また学校以外での生徒の生活が美しいイラスト入りで書かれている。

Ballerina

by Edward Stewart

(Doubleday & Company)

“バレリーナ”という言葉から想像される読者の認識を変えようとして書かれたもの。日常のハードな生活や, 彼女たちを取りまく状況について述べられている。

Ballerina: A Biography of Violette Verdy

by Victoria HucKenphler

(Marcel Dekker, Inc.)

現在, ニューヨーク・シティ・バレエのプリンシパル・ダンサーであるバイオレット・バーディーについて書かれたもの。バレエをはじめた幼少時代から生まれ故郷であるフランスのオペラ・バレエでの

活躍，そして今日に至るまで。

How to Enjoy Ballet

by Don McDonagh

(Doubleday & Company, Inc.)

バレエを愛好する成人初心者向けに書かれた入門書。バレエの歴史や様式，テクニクについてわかりやすく述べている。

Erik Bruhn; Danseur Noble

by John Gruen

(The Viking Press)

今世紀最大の男性舞踊手の一人といえるエリック・ブルーンについての対話集。著者とエリック，彼の友人，批評家たち，との対談が収められ，芸術家としての側面だけでなく，人間としてのエリックが語られている。

Ethnic Stories for Children to Dance

by Margery Dorian

(B B B Associates)

物語や音楽をとりいれた創作的なムーブメントの初歩的指導書である。子どもたちが他の活動をしなから自然にダンスの世界に入りこんでいけるような指導が工夫されている。

Philippine Dance: Mainstream and Crosscurrents

by Reynald Alejandro

(Vera-Reyes, Inc.)

フィリピンの民族舞踊について歴史的発展，影響，さらに今日の姿などが書かれている。現存する貴重な舞踊遺産が豊富な図版や写真によって呈示されている。

I was there: Selected Dance Reviews and Articles - 1936-1976.

by Walter Terry

(Marcel Dekker, Inc.)

アメリカの代表的舞踊評論家のひとりであるウォルター・テリーが40年間に執筆したものの集大成。めまぐるしく展開したアメリカン・ダンスを現象に立ちいって把握できる好著といえる。

Great Male Dancers of Ballet

by Walter Terry

(Anchor Press)

男性舞踊手についての歴史やその地位の変遷をたどったもの。特に現在，世界的に活躍している人々に重点を置き，写真や彼ら自身の言葉を引用している。

The Dance Experience: Readings in Dance Ap-

preciation

ed., by Myron H. Nadel & C. Nadel Miller

(Universe Books)

S.J. コーヘン，S.K. ランガー，ドリス・ハンフリー，アントニー・チューダー，ホセ・リモン，マーサ・グラハム，ノヴェール，ワルター・ソレルらの小論を収めた論文集。内容は舞踊美学，批評，形式論，教育論など多岐にわたっている。

Where She Danced

by Elizabeth Kendall

(Alfred A. Knopf.)

アメリカ・モダン・ダンスの創始者であると考えられているイサドラ・ダンカンやセント・デニスが活躍した1880~1920年頃について書かれた本。

Dancers Dancing

by Herbert Migdoll

(Harry Abrams, Inc.)

1954年にニューヨーク・デビューをして以来，意欲的な活躍を続け，N.Y.C.やA.B.T.に並ぶバレエ団に成長したロバート・ジョフリーバレエ団の公演(1964~1978)写真集。ジョフリーが序文を書いている。

Nijinsky

by Vera Krasovskaya

(Dance Horizons)

著者自身がこの本について“文学的伝記であり学問的な研究書ではない”と評しているように，これまでのニジンスキーに関する本よりも，感情的，心理的に書かれている。

The Magic of Dance

by Margot Fonteyn

(Alfred A. Knopf)

マーゴット・フォンティーンが書いた3冊目の本。第1章はソ連やアメリカの著名な舞踊家について，第2章はロマンチック・バレエについて書いている。

Fred Astaire

by Benny Green

(Exeter Books)

1930年代~40年代にステージ，映画，テレビで大活躍し多くのファンを魅了しつづけたスター，フレッド・アステア。彼に関する本はいくつかあるが，その中で最もすぐれたものといえる。出演リストや写真，彼の生活ぶりについても紹介されている。

Pablo Picasso: Designs for "The Treecornered Hat"

by Parmenia Migel

(Dover Pub., Inc.)

ディアギレフ・バレエ団の舞台美術を担当した当時のピカソについてと舞台美術の写真集。31枚のカラー写真と7枚の白黒のイラストが収められている。

Page by Page
by Ruth Page

(Dance Horizons)

ジョン・マーティンによるルース・ページの伝記が出版されたばかりであるが、ページ自らが語るページの本が、彼女と親交の深いアンドリュース・M・ウェンティンクの編集によって世に出された。舞踊家としてのページの活躍、彼女が接した多くの舞踊家の印象や彼らの思想などが語られている。

Dance Posters
by Eleanor Rachel Luger

(Simon & Shuster)

現在のモダン・ダンス、バレエ、民族舞踊などの数々のポスター、また過去のすぐれたダンス・ポスターを収集した本。

Life at the Royal Ballet School
by Camilla Jessel

(Methuen, Inc.)

ロイヤル・バレエ・スクールの生徒たちの生活を紹介した本。バレエ・テクニクに関してより心と身体の訓練を通しての日常の暮らしぶりについて書かれている。

Katherine Dunham, A Biography
by Ruth Beckford

(Marcel Dekker)

1914年シカゴ生れの舞踊家キャサリン・ダンハムの伝記。黒人舞踊のすぐれた踊り手、振付師、ディレクターであり、シカゴ大学の芸術学修士号をもつ民族学者でもある。キャサリンと長いこと親しい友人である著者は、彼女の生涯を、修業時代、世界巡演時代、現在の3部に分けてのべている。キャサリンへのインタビューや振付作品の年表が資料として付いている。

The Dance Technique of Doris Humphrey
by Ernestine Stodelle

(Dance Books Ltd.)

ドリス・ハンフリー・コンサート・グループやハンフリー・ワイドマン・カンパニーのソリストであった著者によってまとめられた本。"ドリス・ハンフリーは、自己の芸術創造と密着してハンフリー・テクニクを創りだした。そのテクニクは、実践する人々を喚起し、人々がさらに創造的に展開・応用できる可塑性をもったテクニクであった"と著者は書いている。第一部はテクニクの背景、第二部

はテクニクの実際、第三部はテクニクの応用。

Fonteyn and Nureyev, the Story of a Partnership.

by Alexander Bland

(Orbis Publishing)

著者は"パートナーを組むことは結婚に似ている。2人揃って一組であり完成への秘訣も法式もない"と、その序で述べている。この本は理想的なパートナーシップを発揮して、世界のバレエ界の力強い支え手となり多くのバレエ・ファンをつくりだしてきたフォンティーンとヌレエフの2人の伝記ともいえる。

Diaghilev
by Richard Buckle

(Weidenfeld & Nicolson)

今から45年ほど前、ディアギレフの死後まもない頃に、ディアギレフの伝記を著したアーノルド・ハスケルは、この本こそまさに確かなディアギレフの伝記であると称賛している。ハスケルはほとんどインタビューでまとめたが、この本は今までに公開されていないディアギレフの手紙、メモ、電報、契約書など、我々に残された膨大で貴重な資料を駆使して書かれている。

The Principles of Classical Dance
by Joan Lawson

(A. & C. Black)

フォークダンスの名著を残したジョン・ローソンが、バレリーナのアンソニー・ダウエルと写真家のアンソニー・クリックメイの協力を得て書いた本。クラシック・バレエの原理ともいえる"バランスの法則"について詳述されている。

Dictionary of Kinetography Laban
by Albrecht Knust

(Macdonald and Evans)

ラバンの動きのシステムやノーテーションに関する事柄が網羅された主要参考書ともいえる本である。2巻から成り、第1巻は448頁を費して書かれた解説、第2巻はノーテーションの事例集(168頁)。

Laban's Mirror of Motion
by Lisa VLLMAN

(Macdonald and Evans)

ルドルフ・ラバン生誕百年にちなんで出版された。ラバンが書き記した思想や随想、手描きの絵などが収められている。多くの絵はカラーで実物の絵の色彩を美しく再現している。

My Theatre Life

by August Bournonville

(A. & C. Black Ltd.)

19世紀のバレエ・マスターであったオーガスティン・ヴォーノンヴィルの自伝。1848年にデンマーク語で出版された“Mit Theaterliv”の英語版。この自伝は価値ある人生を送ったひとりの人間の次元を超えて、当時の舞踊芸術を知らしめる貴重な書物である。イヴォール・ゲストは、舞踊学者必読必携の書と評している。

(片岡康子・本間清美)

執筆者紹介

郡 司 正 勝	(早稲田大学)
松 本 千代栄	(お茶の水女子大学)
山 田 敦 子	(お茶の水女子大学)
本 田 郁 子	(お茶の水女子大学)
三 好 智 子	(お茶の水女子大学)
大 島 敏	(福井大学)
佐々木 昌 代	(福井大学)
香 山 知 子	(お茶の水女子大学)
鈴 木 廣	(日本大学)
本 間 清 美	(お茶の水女子大学)
柴 真理子	(お茶の水女子大学)
堀 野 三 郎	(長崎大学)
小野満 みどり	(お茶の水女子大学)
西 田 泉	(日本大学)
吉 川 周 平	(鹿児島女子大学)
上 林 澄 雄	(舞踊評論家)
板 谷 徹	(早稲田大学)
片 岡 康 子	(お茶の水女子大学)

昭和54年度 舞踊学関係修士論文一覧

- ※ 1. ㊦は追補。
 2. 大学院名, 五十音順。
 3. 昭和55年3月末日現在, 返答大学院, 14校。

㊦舞踊表現についての考察 — Rudolf Von Labanの舞踊理念による— ㊦小・中学生の舞踊創作における舞踊空間に関する考察 — 空間配置について— ダンス表現法の発達に関する考察 — 終止を形成する要因について—	小笠原サチ子 奥 恵理子 平沼 良子	大阪教育大学大学院・教育学研究科 同上 同上
幼児の身体表現教育に関する考察 — 児童舞踊の分析と評価— ブラトンの舞踊観 明治期の舞踏的遊戯 — 明治18~45年の舞踏関係書の考察—	村上智恵子 大熊琴月枝 香山 知子	お茶の水女子大学大学院・人文科学研究科 同上 同上
申楽の成立と展開 — 中世芸能史研究序説—	小林 健二	国学院大学大学院・文学研究科
フランスの体育における身体表現理論 — M. Benardの表現理論を中心に— ㊦舞踊の原理的考察 — 舞踊と自我— ㊦舞踊教育に関する考察 — 感情の関わりについて— 舞踊における身体の拡がりについての考察	溜池 陽子 笹部 桂子 奥井えり子 麻生 和江	筑波大学大学院・体育研究科 東京学芸大学大学院 同上 同上
表現動作のリズム構造に関する実験的研究 — 心拍・呼吸数を指標として—	榎並 恵子	奈良女子大学大学院・文学研究科
自拍子の芸能について 江戸近世歌舞伎舞踊の道行研究 翁猿楽および能の地平に関する比較演劇論	國吉 和子 アン・千手子・佐渡 高山 茂	早稲田大学大学院・文学部研究科 同上 同上

学会活動報告

- * 6月9日(土) 舞踊学会紀要『舞踊学』第2号を発行。
 * 6月9日(土)10日(日) 早稲田大学ほかにおいて昭和54年度総会ならびに第7回舞踊学会春季大会を開催。
 総会—事業報告・会計報告・監査報告
 第1日(早稲田大学大隈講堂)
 特別講演 進化的にみた動物と人間の動き
 立教大学教授 香原 志勢
 実演とシンポジウム
 実演・バレエと日本舞踊における鳥の表現

中野真理・花柳寿恵幸
 シンポジウム・鳥のイメージと舞踊表現
 トロント大学 フランク・ホッフ
 日本バレエ協会 川路 明
 日本大学 目代 清(司会)

第2日 見学 野村万作(狂言) 稽古場
 小島章司フラメンコ教室

- * 6月9日(土) 第9回理事会
 * 11月3日(土)4日(日) 静岡大学において第8回舞踊学会秋季大会を開催。

第1日(静岡大学教育学部視聴覚棟)
 研究発表

ダンスの指導における考察——指導者の言語より——
 大島 敏
 佐々木昌代
 外来舞踊の導入と舞踏的遊戯の生成過程——
 明治期における舞踏の史的考察——

松本千代栄
 香山 知子
 舞踊運動表現の民族的特性に関する研究Ⅲ
 ——インド古典舞踊の様式と技術——

松本千代栄
 山田 敦子
 本田 郁子
 三好 智子

Sadler's Wells —— その発祥と展開——
 鈴木 廣
 舞踊作品研究 —— 事例研究 ——

松本千代栄
 本間 清美
 舞踊作品の構造に関する研究——「雫の跡」の分析を中心に——
 柴 真理子
 教育舞踊における運動主題記譜法の応用(Ⅰ)
 堀野 三郎

第2日

研究発表

中国の舞踊——歌舞芸能(秧歌)を中心として——
 小野満みどり
 日本舞踊研究——志賀山流の表現——

西田 泉
 イザイホールにおける舞踊 吉川 周平
 舞踊のなかの時間 上林 澄雄
 報告 リンカーン・センター・ダンスコレクションについて 市川 雅
 フィルム 静岡県民の民俗芸能 他

- * 12月15日(土) 第10回理事会。編集委員及び編集幹事は、第3号まで継続。

- * 2月23日(土) 木村百合子を囲む座談会を舞踊学会、現代舞踊協会研究部の共催で開催。

(第7回舞踊学会運営委員——郡司正勝, 市川雅, 板谷徹)

(第8回舞踊学会運営委員——斎藤千代子)